

Le Potazzine

レ・ポタッジーネ

Bio

わずか5haという所有畠の面積の小ささながら、Vinous誌からの「気絶するほどに美しい」という最大限の賛辞を筆頭に軒並み高い評価を得ている小規模生産者。イタリアワイン界の伝説であるジュリオ・ガンベッリの思想を色濃く受け継いで生み出された美しいワインは、世界中の愛好家たちが熱望している。



モンタルチーノの街から南西におよそ5km進むとレ・プラータという村が広がっている。モンタルチーノの丘の中心からほど近いこの村は標高が高く見晴らしが抜群で、はるか南西方向にはティレニア海を望むことができる。

この地にワイナリーを構えるレ・ポタッジーネは1993年創業の家族経営のワイナリーである。レ・プラータはかつて標高の高さから冷涼すぎてサンジョヴェーゼの成熟は困難と判断され、ほぼ見向きもされない場所であった。しかし、創業者であるジュゼッペ・ゴレッリは「適切な栽培をすれば、フレッシュで個性的なブルネッロが生まれる」と信じ、妻ジリオーラとともにこの土地の購入を決めた。最初に購入した3haの畠はワイナリーに隣接し標高507mとこの辺りでは最も高い場所に位置する。常に風が吹く爽やかで冷涼な気候のおかげで、香り高くフレッシュなブドウが伸び伸びと育つ。近年の温暖化の影響を受け、モンタルチーノの多くの生産者がこぞって標高の高い畠に投資をしているが、以前は見向きもされなかったレ・プラータの畠は今では質の高いサンジョヴェーゼを生むエリアの一つとして認知されている。

畠の拡張をしたのは1996年で、レ・プラータから約15km南下したサンタンジェロ・イン・コッレ村にあるラ・ツッレという畠を2ha購入。ラ・ツッレは、ブルネッロの重鎮リジーニのトップキュヴェ「ウゴライア」に隣接する恵まれた区画。標高は450mだが、レ・プラータに比べるとはるかに暑く果実味が豊かで力強いブドウが生まれる。

レ・ポタッジーネの最大の強みはわずか5haという希少性と、標高差のある2区画を自由にブレンドできる点である。冷涼なし・プラータにはエレガンスとフレッシュさが、暖かいラ・ツッレには骨格と厚みがあり、二つの異なる個性を自在に操ることで、ブドウが一律に熟しないような難しい年でも、お互いが補完しあうことで見事なバランスと複雑さを持つ極めて完成度の高いワインが生まれるのだ。無論どちらの畠もブルネッロの格付けであるが、畠での選果、マロラクティック発酵後のバレル・セレクションという2回の選定を経ておよそ半分の量が贅沢にもロッソに格下げされて瓶詰される。小規模畠かつ厳しいセレクションを経て生まれるブルネッロは至上の味わいであるだけではなくその希少価値は計り知れない。

ワイナリーの目指すスタイルは「Harmony, Finesse, Cleanliness」。ワイナリー創業以前は栽培専門家としてブルネッロ協会で働いていたジュゼッペは16年もの間、イタリアワイン界の伝説であるジュリオ・ガンベッリと共に仕事を行っていた経歴を持つ。ガンベッリと共に毎年全ての生産者を周っては試飲し助言を行っていた経験があり、ガンベッリのワイン造りの思想を色濃く受け継いでいる。栽培はオーガニックで行い2019年には認証を取得。醸造では可能な限り自然なアプローチを心掛ける。発酵は野生酵母のみ使用、マセラントンもゆっくりと時間をかけて行う。熟成には伝統的なスラヴォニア産オークの大樽を用いるが、できる限り還元状態でゆっくりとワインを熟成させるため、樽材の厚さは6cmと普通より1cm厚くしたものを特注している。樽熟成の法定期間が長いブルネッロでは酸素を与えすぎると熟成が進み疲弊したワインになるからだ。同様の理由で一度に大量の酸素と触れる濾過引も最小限にとどめる。こうすることで長い熟成を経た後でも、ワインは一貫して優美でエレガント、みずみずしい果実味と長い余韻が備わる。

Vinous誌は「創設から歴史が浅いにも関わらず、モンタルチーノのトップ生産者の1つとして世界的に認知されている」「ヴィンテージ、土地、品種の個性を最高の精度で表現する洗練されたブルネッロ」「気絶するほどに美しく、大満足なワイン」と大絶賛。Decanter誌、Wine Advocate誌でも軒並み高い評価を得ており、サンジョヴェーゼという品種の個性を捉え、洗練されたブルネッロを生む造り手として高く評価されている。一方で生産量が非常に限定されているため手にできる者は決して多くなく、世界中の愛好家が熱望しているブルネッロであることは間違いない。2017ヴィンテージからはジュゼッペと同様にジュリオ・ガンベッリの下で学び、現在は世界的人気を誇るモンテヴェルティーネでコンサルタントを務めるパオロ・サルヴィを醸造家として招き、新体制の下さらに高い品質を追及している。



サンジョヴェーゼ
2023 Sangiovese

限定 希望小売価格 ¥5,600

- 産地: I.G.T. Toscana
- 品種: サンジョヴェーゼ100%
- 熟成: ステンレスタンク12ヶ月
- 評価: —
- アルコール度数: 13.5%



ステンレスタンクのみで醸造を行うためブルネッロとロッソの持つ優雅さを残しながら、よりフレッシュなスタイルに仕上がる。チェリー、ラズベリーなどのチャーミングなアロマ。口に含むと生き生きとした赤系果実を主体に、心地よい酸とミネラルを感じられる。サンジョヴェーゼの持つエレガンス、ハーモニー、奥行きの深さがしっかりと表現されている。



ロッソ・ディ・モンタルチーノ
2023 Rosso di Montalcino

限定 希望小売価格 ¥8,500

- 産地: D.O.C. Rosso di Montalcino
- 品種: サンジョヴェーゼ100%
- 熟成: スラヴォニアオークの大樽(30&50hl)12ヶ月
- 評価: WA90
- アルコール度数: 14%



イチゴやラズベリーなどのチャーミングな赤系果実を主体に、フローラルや杉のヒントが溶け込んでいる。ミネラルと心地よい塩味があり、快活な酸がワインに生命力を与えて。ピュアなサンジョヴェーゼの果実味が見事に表現されており、余韻にはミネラルとタンニンが心地よく広がる。



ブルネッロ・ディ・モンタルチーノ
2020 Brunello di Montalcino

限定 希望小売価格 ¥19,800

- 産地: D.O.C.G. Brunello di Montalcino
- 品種: サンジョヴェーゼ100%
- 熟成: スラヴォニアオークの大樽(30&50hl)40ヶ月
- 評価: Vinous96+, WA95, JS93
- アルコール度数: 13.5%



ブラックチェリー、フランボワーズにバラ、スミレの華やかなアロマ。口当たりは瑞々しく、豊かな赤系果実とミネラル、酸、洗練されたタンニンが調和している。後半にかけてバラの花びら、カルダモンなどの旨味のあるスパイス、土や杉の複雑なニュアンスが広がる。肉厚でありながらバラنسが取れており、完璧なまでのクラシカルなフィニッシュが楽しめる。

Italy